

富山大学大学院医学薬学教育部

博士後期課程 薬科学専攻

学生募集要項 (第2回)

平成30年4月入学

一 般 入 試

社 会 人 特 別 入 試

外 国 人 留 学 生 特 別 入 試

平成29年11月

富 山 大 学

入学者受入方針（アドミッションポリシー）

薬科学専攻

博士後期課程薬科学専攻では、主に基礎薬学分野において研究者として自立して研究活動を行うことができる能力、その他の高度に専門的な業務に必要とされる能力を醸成する教育研究を指向する。進展する自然科学諸分野の知識や技術を常に取り入れ、最先端の研究遂行能力を有する、研究者や薬学教育者を育成することを目的とする。そこで、従前の薬学系学問分野のみならず、最新の学際領域における先端的分野で、広く活躍したい人を求める。

目 次

一 般 入 試	1
1 募 集 人 員	
2 出 願 資 格	
3 入 学 者 選 抜 方 法	
社 会 人 特 別 入 試	3
1 募 集 人 員	
2 出 願 資 格	
3 入 学 者 選 抜 方 法	
外 国 人 留 学 生 特 別 入 試	5
1 募 集 人 員	
2 出 願 資 格	
3 入 学 者 選 抜 方 法	
共 通 事 項	6
1 出 願 手 続	
2 合 格 者 発 表	
3 入 学 手 続	
4 入 学 志 願 者 の 個 人 情 報 保 護 に つ い て	
5 注 意 事 項	
大 学 院 医 学 薬 学 教 育 部 博 士 後 期 課 程 薬 科 学 専 攻 の 概 要	10
1 目 的	
2 専 攻 の 修 業 年 限 ・ 履 修 基 準	
3 授 業 科 目 一 覧	
4 指 導 教 員 研 究 内 容 一 覧	
5 教 育 方 法 の 特 例	
6 学 位	
7 高 度 職 業 人 育 成 コ ー ス に つ い て	
別 表 I 授 業 科 目 一 覧	12
別 表 II 指 導 教 員 研 究 内 容 一 覧	13

本学大学院医学薬学教育部博士後期課程薬科学専攻（平成30年4月入学）の学生募集は、2回に分けて実施しますが、第2回の学生募集は、この学生募集要項により実施します。
また、第1回の学生募集は、平成29年8月中旬に実施しました。

一 般 入 試

1 募 集 人 員

専 攻	募集人員	備 考
薬 科 学 専 攻	若 干 人	募集人員には社会人特別入試，外国人留学生特別入試の募集人員を含みます。

(注) 入学志願者は，事前に志望する教育分野の指導教員と教育・研究等に関する方向性等について必ず相談してください。

2 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 修士の学位又は専門職学位（学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者及び平成30年3月までに授与される見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において，外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月までに授与される見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
 - ア 大学を卒業し，大学，研究所等において，2年以上研究に従事した者で，本教育部において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
 - イ 外国において学校教育における16年の課程を修了した後，又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後，大学，研究所等において，2年以上研究に従事した者で，本教育部において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (6) 本教育部において，個別の入学資格審査により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で，入学時に24歳に達しているもの
- (7) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という。）の課程を修了し，修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月末日までに授与される見込みの者
- (8) 外国の学校，第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し，大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

(注) 上記(5)，(6)又は(8)で出願しようとする者には，事前に入学資格審査を行うので，「共通事項」の「1 出願手続」の「(4) 入学資格認定申請」を参照してください。

3 入学者選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験及び成績証明書の成績を総合して行います。

(1) 筆記試験

- ・ 薬学専門科目：薬理学、生化学、有機化学、物理化学、薬剤学、生薬学から1科目を選択し、解答します。
- ・ 外国語：英語（専門）

(2) 口述試験

修士論文及びこれに関連する研究論文その他専門科目について行います。

(3) 試験日程及び試験場

月 日 (曜)	時 間	試験科目等	試 験 場
平成30年 2月9日(金)	9:30～11:30	薬学専門科目	富山市杉谷2630番地 富山大学 杉谷（医薬系）キャンパス
	13:00～14:00	外国語 英語（専門）	
	15:00～（予定）	口 述 試 験	

※ 口述試験の開始時間については、出願者数によって変更する場合があります。
変更する場合は、受験票を送付する際にお知らせします。

社会人特別入試

1 募集人員

専攻	募集人員	備考
薬科学専攻	若干人	

- (注) ・ 入学志願者は、事前に志望する教育分野の指導教員と教育・研究等に関する方向性等について必ず相談してください。
- ・ 本教育部では、社会人の就学に特別な配慮を行うため「大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例」を適用し、教育上特別の必要があると認められる場合は離職することなく、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行います。

2 出願資格

研究者等として各種研究機関、教育機関及び企業等に勤務している者又は平成30年4月から勤務見込みの者で、次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び平成30年3月までに授与される見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月までに授与される見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
 - ア 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本教育部において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
 - イ 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本教育部において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (6) 本教育部において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時に24歳に達しているもの
- (7) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月末日までに授与される見込みの者
- (8) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

- (注) 上記(5)、(6)又は(8)で出願しようとする者には、事前に入学資格審査を行うので、「共通事項」の「1 出願手続」の「(4) 入学資格認定申請」を参照してください。

3 入学者選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験及び成績証明書の成績を総合して行います。

(1) 筆記試験

- ・ 薬学専門科目：薬理学、生化学、有機化学、物理化学、薬剤学、生薬学から1科目を選択し、解答します。
- ・ 外国語：英語（専門）

(2) 口述試験

修士論文及びこれに関連する研究論文又は業務経験について行います。

(3) 試験日程及び試験場

月 日 (曜)	時 間	試験科目等	試 験 場
平成30年 2月9日(金)	9:30～11:30	薬学専門科目	富山市杉谷2630番地 富山大学 杉谷（医薬系）キャンパス
	13:00～14:00	外国語 英語（専門）	
	15:00～（予定）	口 述 試 験	

※ 口述試験の開始時間については、出願者数によって変更する場合があります。
変更する場合は、受験票を送付する際にお知らせします。

外国人留学生特別入試

1 募集人員

専攻	募集人員	備考
薬科学専攻	若干人	

(注) 入学志願者は、事前に志望する教育分野の指導教員と教育・研究等に関する方向性等について必ず相談してください。

2 出願資格

外国籍を有する者で、次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月までに授与される見込みの者
- (2) 本教育部において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に24歳に達しているもの

(注) 上記(2)で出願しようとする者には、事前に入学資格審査を行うので、「共通事項」の「1 出願手続」の「(4) 入学資格認定申請」を参照してください。

3 入学者選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験及び成績証明書の成績を総合して行います。

- (1) 筆記試験
 - ・ 薬学専門科目：薬理学、生化学、有機化学、物理化学、薬剤学、生薬学から1科目を選択し、解答します。
 - ・ 外国語：英語(専門)
- (2) 口述試験
修士論文及びこれに関連する研究論文その他専門科目について行います。
- (3) 試験日程及び試験場

月日(曜)	時間	試験科目等	試験場
平成30年 2月9日(金)	9:30～11:30	薬学専門科目	富山市杉谷2630番地 富山大学 杉谷(医薬系)キャンパス
	13:00～14:00	外国語 英語(専門)	
	15:00～(予定)	口述試験	

※ 口述試験の開始時間については、出願者数によって変更する場合があります。変更する場合は、受験票を送付する際にお知らせします。

共 通 事 項

1 出 願 手 続

(1) 出 願 方 法

入学志願者は次の期間内に、銀行振込による「検定料」の納付を済ませた上で、次の区分により記載事項を封筒に朱書きし、出願書類等を「書留・速達」で郵送してください。

① 出願期間

平成29年12月11日(月)～平成30年1月5日(金) (消印有効)

「出願書類等郵送先 〒930-0194 富山市杉谷2630番地

富山大学 医薬系学務課 (入試担当)」

なお、「検定料」の納付方法については、「(3) 検定料の納付方法」を参照してください。

ただし、本学の各教育部(研究科)の博士前期課程又は修士課程に在学中の者で、引き続き本教育部の博士後期課程に進学しようとする場合は「検定料」の納付は必要ありません。

② 封筒記載事項

- ・ 一般入試 : 「博士後期課程薬科学専攻一般入試 入学願書在中」
- ・ 社会人特別入試 : 「博士後期課程薬科学専攻社会人特別入試 入学願書在中」
- ・ 外国人留学生特別入試 : 「博士後期課程薬科学専攻外国人留学生特別入試 入学願書在中」

(2) 出 願 書 類 等

書 類 等	摘 要
① 入 学 願 書	本学所定の用紙によります。
② 修士課程修了(見込)証明書	出身大学(研究科)長が作成したもの(本学 博士前期課程出身者は不要)
③ 出身大学院の成績証明書	出身大学(研究科)長が作成し厳封したもの
④ 出身大学学部の成績証明書	出身大学(学部)長が作成し厳封したもの
⑤ 修 士 論 文 又 は これにかわるもの	1部 (入学資格認定申請者及び社会人特別入試による出願者は「研究論文一覧表(学会発表を含む。)」(本学所定の用紙)をこれにかえて提出することもできます。)
⑥ 上 記 論 文 等 の 要 旨	2部 A4判, 上質紙1ページ以内(図表等を添付する場合は別ページとし, 全体で2ページ以内)とし, 論文題目, 氏名を明記してください。本文は, 11ポイント以上の文字サイズで, 上下左右20mm以上の余白をとることとします。 (入学資格認定申請者及び社会人特別入試による出願者は, 「研究及び業務内容の概要(A4判で2,000字程度にまとめたもの)」をこれにかえて提出することもできます。)
⑦ 受 験 票 ・ 写 真 票	本学所定の用紙によります。写真(上半身, 無帽, 正面向, 単身とし, 出願前3か月以内に撮影したもの(縦4cm, 横3cm))を写真欄にはり付けてください。
⑧ 検 定 料 振 込 証 明 書	本学所定の「検定料振込依頼書」により, 金融機関で「検定料」を納付後, 金融機関発行の「振込金証明書(検定料)」をはり付けたものを提出してください。ただし, 本学の各教育部(研究科)の博士前期課程又は修士課程に在学中の者で, 引き続き本教育部の博士後期課程に進学しようとする場合は「検定料」の納付は必要ありません。
⑨ 受 験 承 認 書	他の大学院等に在学中の者又は官公庁, 民間会社に在職中の者は, 当該大学院研究科長又は所属長の受験承認書を添付してください。(様式随意)

⑩	住民票の写し (右記該当者のみ)	現に日本国に在住している外国人は、市町村長又は特別区長の交付する住民票の写しを添付してください。
⑪	返信用封筒	受験票の送付に使用するもので、長形3号(23.5cm×12cm)の封筒に、郵便番号、住所、氏名を明記し、郵便切手362円(速達)をはり付けてください。
⑫	あて名票 (合格通知書等送付用)	本学所定の用紙によります。郵便番号、住所、氏名を記入してください。

(3) 検定料の納付方法

検定料30,000円を平成30年1月5日(金)午後3時までには納付してください。ただし、本学の各教育部(研究科)の博士前期課程又は修士課程に在学中の者で、引き続き本教育部の博士後期課程に進学しようとする者は、「検定料」の納付は必要ありません。

検定料は、「電信振込」を取り扱う最寄りの銀行、信用金庫及び農協等の窓口で本学所定の用紙により振込みをしてください。

ATM(現金自動預払機)による振込みはしないでください。また、ゆうちょ銀行からの振込みはできません。

なお、納付された検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- ① 検定料の振込みをしたが富山大学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった、又は出願書類が受理されなかった)場合
- ② 検定料の振込みを二重にした場合
- ③ 検定料の金額を超えて振込みをした場合

(注) 検定料の返還請求の必要が生じた場合は、別紙「検定料返還請求書」により、必ず「振込金証明書(検定料)」をはり付けて、富山大学へ郵送してください。

送付先 〒930-8555 富山市五福3190 富山大学 財務部 経理課 電話 (076) 445-6053

(4) 入学資格認定申請

出願資格の(5)、(6)又は(8)(外国人留学生特別入試にあつては、出願資格の(2))で出願しようとする者には、入学資格の事前審査を行うので、次の書類を添えて、平成29年12月1日(金)までに本学医薬系学務課(入試担当)へ提出してください。

- ・ 入学資格認定審査調書(本学所定の用紙)
- ・ 最終学校の成績証明書、卒業証明書
- ・ 研究及び業務内容の概要
- ・ 研究論文一覧表(学会発表を含む。)(本学所定の用紙)

なお、入学資格審査の結果は、平成29年12月8日(金)までに本人あてに通知します。

(5) 障害を有する入学志願者の事前相談

障害を有する入学志願者は、受験及び修学の際に特別な配慮を必要とすることがあるので、出願に先立ち、本学医薬系学務課(入試担当)に相談してください。

なお、相談に際しては、下記事項を記載した書類及び医師の診断書の提出を求める場合があります。

- ・ 障害の種類・程度
- ・ 受験の際に特別な配慮を希望する事項
- ・ 修学の際に特別な配慮を希望する事項
- ・ 日常生活の状況、その他参考となる事項

① 相談期限 平成29年12月1日(金)

② 連絡先 〒930-0194 富山市杉谷2630番地
富山大学 医薬系学務課(入試担当)
電話 (076) 434-7658

2 合格者発表

平成30年2月23日(金) 午後3時, 本学杉谷(医薬系)キャンパス薬学部研究棟玄関前に合格者の受験番号を掲示するとともに合格者本人に通知します。

なお, 電話, F A X等による可否の問合せには, 一切応じません。

3 入学手続

入学手続は, 次のとおりですが, 詳細については合格者に通知します。

- (1) 入学手続日 平成30年3月22日(木) (予定)
- (2) 入学手続場所 富山大学 杉谷(医薬系)キャンパス
- (3) 入学手続に必要な書類等
合格通知書, 写真(縦4cm, 横3cmでカラー撮影), 在学誓書(本学所定の用紙)等
- (4) 入学手続に必要な経費等
ア 入学料 282,000円(予定額)

(注) ① 上記の入学料は予定額であり, 入学時に入学料が改定された場合は, 改定時から新たな入学料が適用されます。

② 納付された入学料は, いかなる理由があっても返還しません。

イ その他

- ① 入学料の納付が困難と認められる場合には, 選考の上, 免除・徴収猶予されることがあります。
 - ② 授業料の納付については, 入学後に納付することとなります。なお, 納付金額・納付方法については入学手続時に案内します。
<参考>平成29年度授業料 年額535,800円
 - ③ 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金制度があります。
 - ④ 学生教育研究災害傷害保険制度等の経費が別途必要です。
- (5) 注意事項
入学手続日に入学手続を完了しない者は, 入学を辞退したものとして取り扱います。

4 入学志願者の個人情報保護について

本学が保有する個人情報については, 「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人富山大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。

- (1) 出願にあたって知り得た氏名, 住所その他個人情報については, ①入学者選抜(出願処理, 選抜実施), ②合格発表, ③入学手続, ④入学者選抜方法等における調査・研究, ⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 出願にあたって知り得た個人情報は, 本学入学手続完了者についてのみ, 入学前における準備教育及び入学後における①教務関係(学籍, 修学指導等), ②学生支援関係(健康管理, 授業料免除・奨学金申請, 就職支援等), ③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
- (3) 本学合格者についての氏名, 住所に限り, 課外活動団体並びに本学の関係団体である同窓会, 後援会及び生活協同組合からの連絡を行うために利用する場合があります。

(注) 上記団体からの連絡を希望しない場合は, 本学医薬系学務課(入試担当)にその旨申し出てください。

- (4) 各種業務での利用にあたっては, 一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者(以下「受託業者」という。)において行うことがあります。業務委託にあたり, 受託業者に対して, 委託した業務を遂行するために必要となる限度で, 知り得た個人情報の全部または一部を提供します。

5 注 意 事 項

- (1) 出願書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- (2) 受理された出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。
- (3) 入学許可の後においても、提出書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学を取り消すことがあります。
- (4) 出願に関する事項その他についての問合せは、下記あてに照会してください。

富山大学 医薬系学務課（入試担当）

〒930-0194 富山市杉谷2630番地

電話（076）434-7658

大学院医学薬学教育部博士後期課程薬科学専攻の概要

1 目 的

博士後期課程薬科学専攻は、領域横断的な最先端創薬に関する教育・研究と和漢医薬学及び臨床薬学に関する教育を実施し、得られた知識と技術を応用して創薬科学等をはじめとする薬学関連領域において活躍できる研究者・技術者を養成することを目的としています。

2 専攻の修業年限・履修基準

(1) 修業年限

薬科学専攻の修業年限は、3年を標準とします。

(2) 履修基準

本教育部博士後期課程薬科学専攻に3年以上在学し、研究指導を受けるとともに、講義である授業科目を2単位以上、各研究室の指導教員が行う薬科学演習を4単位、薬科学特別研究14単位の合計20単位以上を履修し、さらに必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとします。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、この課程に2年以上在学すれば足りるものとします。

なお、高度職業人育成コース履修者にあつては、上記科目に加え特別実習（インターンシップ）4単位及び指導教員が行う医薬品製剤開発学実習又は医薬品薬効動態学実習について、1単位を履修することが必要です。

3 授業科目一覧

別表Ⅰのとおり

4 指導教員研究内容一覧

別表Ⅱのとおり

5 教育方法の特例

教育方法の特例を受ける者は、指導教員と相談して履修計画書を提出した場合には、昼間における履修のほかに、授業及び研究指導を夜間に履修することができます。

その時間帯は原則として月曜日から金曜日の18時05分から21時10分を予定していますが、この時間帯以外にも授業科目によっては、土曜日又は夏季休業等に履修することができます。

I 限 8：45～10：15 II 限 10：30～12：00 III 限 13：00～14：30

IV 限 14：45～16：15 V 限 16：30～18：00

VI 限 18：05～19：35 VII 限 19：40～21：10

6 学 位

学位の種類は、博士（薬科学）です。

7 高度職業人育成コースについて

本学医学薬学教育部（博士後期課程）では、希望者を対象に和漢薬領域を基盤とした高度職業人の育成プログラム（the program for developing highly skilled professionals based on natural medicine and pharmaceutical sciences:PDNP）を実施しています。本コースは、博士課程に我が国ならびに諸外国の学生を受入れ、医療現場のチーム医療の中で即戦力として薬物治療の要となる人材、及び製薬企業における薬学研究、品質管理、開発に携わる優れた人材を育成することを目的としています。さらに、富山地域における歴史的伝統と、大学が蓄積してきた研究・教育を活かし、専門職業人の育成を通し、薬学領域のさらなる発展に資することとしています。薬科学専攻では、和漢薬に精通した製薬企業での長期インターンシップを通し、研究・開発、品質管理等を総合的に経験し和漢薬に関連する専門職エキスパートを育成するコースのカリキュラムを履修することができます。

別表 I

授 業 科 目 一 覧

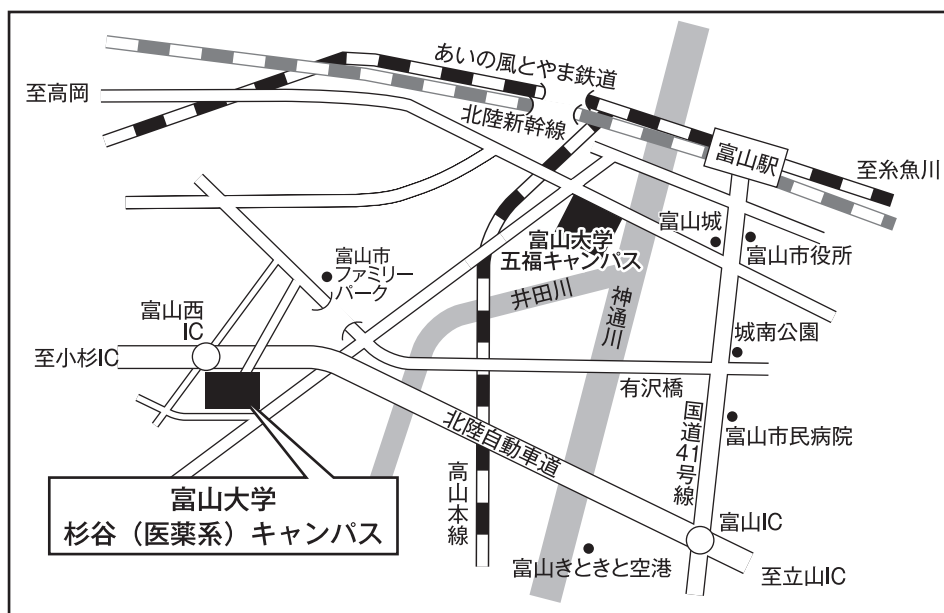
授 業 科 目	配当年次	単 位 数			備 考
		必 修	選 択	自 由	
分子生物薬科学特論	1・2前		2		
分子薬科学特論	1・2後		2		
先端東西医薬学特論	1・2前		2		
医薬品製剤開発学実習	2・3後		1		
医薬品薬効動態学実習	2・3後		1		
国際医薬学特論	1・2後		2		
特別実習（インターンシップ）	2・3後		4		
薬科学演習	1～3通	4			
薬科学特別研究	1～3通	14			
研究倫理・研究方法論	1～3通			1	e-ラーニング
日本語・日本文化	1・2前・後			4	留学生に限る
計		18	14	5	

指導教員研究内容一覧（博士後期課程）

教育分野	指導教員	主な研究内容
薬 劑 学	教 授 細 谷 健 一	<ul style="list-style-type: none"> ・血液網膜関門の輸送機能解析と網膜への薬物送達 ・血液網膜関門細胞の再構築と細胞間相互作用解析 ・生体内関門組織における生理機能及び輸送機能解明
応 用 薬 理 学	准教授 安 東 嗣 修	<ul style="list-style-type: none"> ・掻痒，疼痛および異常感覚の症状を呈する病態モデル動物の作出 ・掻痒，疼痛および異常感覚の発症機序に関する研究 ・掻痒，疼痛および異常感覚に対する治療薬および予防薬の探索と開発
生 体 認 識 化 学	教 授 友 廣 岳 則	<ul style="list-style-type: none"> ・創薬を効率化するケミカルバイオロジー：創薬標的を探索する，可視化する，利用する，操作する化学 ・ケミカルバイオロジーに基づく疾患プロテオミクス研究
がん細胞生物学	教 授 櫻 井 宏 明	<ul style="list-style-type: none"> ・炎症シグナルによるがん悪性化の分子機構の解明 ・がん分子標的の活性調節機構に関する研究 ・薬物代謝酵素遺伝子の発現制御機構に関する研究
薬 化 学	教 授 井 上 将 彦	<ul style="list-style-type: none"> ・合成化学を基盤とするケミカルバイオロジー 特に，人工DNA・タンパク制御・糖鎖認識の3プロジェクト
薬 品 製 造 学	教 授 松 谷 裕 二	<ul style="list-style-type: none"> ・創薬のための新しい有機合成反応の開発 ・医薬品開発のためのシーズ探索と構造活性相関研究 ・生物活性化合物の合成と構造最適化
分子神経生物学	准教授 田 淵 明 子	<ul style="list-style-type: none"> ・シナプス-核間の細胞内情報交換と遺伝子発現制御による神経機能調節機構の解明 ・転写因子群，シナプス分子群の機能破綻による神経疾患発症機構の研究，およびそれら分子群を標的とした創薬基盤研究
遺伝情報制御学	准教授 廣 瀬 豊	<ul style="list-style-type: none"> ・RNAポリメラーゼIIによる転写開始の分子機構研究 ・哺乳動物メデイエーター複合体による遺伝情報発現調節機構の研究 ・転写と共役したmRNAプロセシングの制御機構研究 ・遺伝情報制御の破綻に伴う疾患の病態メカニズムの研究
分子細胞機能学	教 授 宗 孝 紀	<ul style="list-style-type: none"> ・免疫制御におけるTNF関連分子群の機能解明 ・ATP-binding cassette (ABC) タンパク質 (ABCD1-4) の構造と機能解析 ・副腎白質ジストロフィーの分子病態の解明と治療薬開発
薬用生物資源学	教 授 黒 崎 文 也 (平成31年3月退職予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・天然物生合成酵素の構造と触媒能の解析 ・二次代謝能発現に関わる情報伝達機能の解明と応用
分子合成化学	教 授 矢 倉 隆 之	<ul style="list-style-type: none"> ・環境調和型有機合成反応の開発研究 ・生物活性天然物の合成研究 ・生理活性物質の医薬化学的研究
生体界面化学	教 授 中 野 実	<ul style="list-style-type: none"> ・膜脂質のダイナミクスと脂質輸送機構の解明 ・脂質フリップフロップの制御機構の解明 ・アミロイドβと脂質膜の相互作用の解明 ・脂質ナノ粒子の構造・機能評価と製剤学的応用
薬 物 生 理 学	教 授 酒 井 秀 紀	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物とポンプ，キャリア，イオンチャネルの相互作用の生理学，生化学，薬理学的研究 ・上皮細胞のトランスポートソーム機能の解明 ・イオン輸送蛋白質の新規機能連関の解明

教育分野	指導教員	主な研究内容
製剤設計学	客員教授 大貫 義則	<ul style="list-style-type: none"> ・製剤設計最適化手法の開発研究 ・分子イメージング技術を利用した製剤物性研究
生薬資源科学	教授 小松 かつ子	<ul style="list-style-type: none"> ・薬用植物・生薬の分子系統学的, 成分化学的, 薬理学的多様性の解析 ・生薬・健康食品の品質の標準化 ・世界の伝統薬物及び薬用資源生物の調査研究 ・和漢薬複合成分のケモメトリックプロファイリング ・伝統薬物由来生物活性成分の探索
天然物化学	教授 森田 洋行	<ul style="list-style-type: none"> ・天然有機化合物の生合成経路の解明 ・二次代謝酵素の立体構造基盤の確立 ・新規医薬品開発を目指した酵素機能の改変 ・植物, 微生物, 海洋生物からの生理活性物質の探索 ・アジアにおける未利用薬用資源の探索
複合薬物薬理学	教授 松本 欣三 (平成31年3月退職予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・認知情動障害の発症機構と(複合)薬物治療に関する薬理学的研究 ・脳神経細胞変性の病因とその薬物(和漢薬)制御 ・心理的・社会的ストレスで誘導される神経精神性障害の発症機構と(複合)薬物治療の研究
病態生化学	教授 早川 芳弘	<ul style="list-style-type: none"> ・NK細胞のバイオロジーと免疫応答における役割の解明 ・腫瘍微小環境での自然免疫応答の役割に関する研究 ・和漢薬による免疫応答および免疫疾患の制御に関する研究 ・がん悪性化・移転阻害をターゲットとした研究
消化管生理学	教授 門脇 真 (平成32年3月退職予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・腸管免疫性疾患(炎症性腸疾患, 食物アレルギーなど)の成因及び病態の解明と薬物制御 ・腸管における神経-免疫相関の解明
神経機能学	教授 東田 千尋	<ul style="list-style-type: none"> ・中枢神経における神経ネットワーク再構築を促進する分子機序の包括的解明 ・アルツハイマー病, 脊髄損傷, うつ病に対する根本的治療を目指した和漢薬研究 ・グリア細胞と神経細胞の相互作用による, 神経変性疾患の改善メカニズムの解明 ・骨格筋萎縮の改善に有効な薬物の研究 ・基礎研究を植物性医薬品開発, 漢方方剤の効能拡大に繋げるための, ヒトでのProof of Concept
栄養代謝学	准教授 渡辺 志朗	<ul style="list-style-type: none"> ・がん悪液質における脂質代謝異常の解析とその脂質栄養学的制御 ・α-リノレン酸, エイコサペンタエン酸およびドコサヘキサエン酸の免疫/炎症応答制御作用の差異の栄養学的評価 ・毒性学的視点からの漢方薬の作用特性の解析
天然薬物開発	准教授 スレス アワレ	<ul style="list-style-type: none"> ・新規抗栄養飢餓耐性スクリーニング方法を用い, 薬用植物資源から天然抗がん剤の探索と開発 ・薬用植物に対する化学研究および生理活性を有する新規二次代謝産物の探索 ・生物活性を有する天然化合物の構造-活性相関性およびがん細胞の生存経路に対する作用機序の研究 ・FT-NMR及びMSを用い, がん細胞に関連するメタボロームバイオマーカーの探索

富山大学 杉谷（医薬系）キャンパス位置図



富山大学 杉谷（医薬系）キャンパスへの交通機関

◎ バス

- ・ 富山駅南口のバス停留所（3番のりば）から「富大附属病院循環」に乗車、「富山大学附属病院」停留所にて下車（所要時間約30分）
- ・ 高岡駅前バス停留所（5番のりば）から「富山大学附属病院」行に乗車、「富山大学附属病院」停留所にて下車（所要時間約50分） ※平日のみ運行

◎ その他

- ・ 富山きときと空港より車で約20分
- ・ 北陸自動車道「富山西IC」より車で約5分



学生募集要項，障害を有する入学志願者の事前相談 及び入学試験に関する問合せ先

* 問合せは，やむを得ない場合を除き，志願者本人が行ってください。

〒930-0194 富山市杉谷2630番地
富山大学 杉谷（医薬系）キャンパス 医薬系学務課（入試担当）
電話（076）434-7658